
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年1月10日号

◎2007年12月トウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年12月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 1～11月の輸出は増加するも、今後の輸出は減少の見込み

海関統計によると、2007年11月のトウモロコシ輸出量は、前年同月比52%減の12.5万トン、同年1～11月の輸出量は、前年同期比87%増の487万トンとなった。11月のトウモロコシ輸入量は1万トン、1～11月の輸入量は前年同期比64%減の2.3万トンとなった。急増する食糧輸出と継続的な国内価格高騰を抑制するため、2007年12月20日からトウモロコシなど食糧の輸出税還付の取り消し措置（従来、トウモロコシは13%の輸出税還付が行われていた）が施行されたことから、今後のトウモロコシ輸出量は減少するものと予測されている。

トウモロコシの主要輸出相手国は韓国で、総輸出量の65.4%を占めている。その他重要な輸出相手国として日本、マレーシア、インドネシア、イランなどがある。前年同期に比べ、中国から日本およびインドネシア向けの輸出量はそれぞれ倍以上増加し、韓国およびマレーシア向け輸出量も、倍近い伸びを示している。輸出地区は、吉林省、内蒙古自治区及び黒龍江省に集中している。

2 世界のトウモロコシ需給のひっ迫はやや改善するも、今後の需給は次第にひっ迫へ

世界的なトウモロコシの増産により、生産が需要を満足させない状況は徐々に改善しつつあるものの、今後は再び需給がひっ迫する状況に向かっている。米国農務省（USDA）の12月の予測によると、2007/08年度の世界のトウモロコシ生産量は前年度を9.3%上回り、新記録となる7.69億トン、うち米国は25%の増産と予測されている。また、世界のトウモ

ロコシ消費量は、前年度比6.3%増の7.66億トンとなると見積もられている。数年来、全世界のトウモロコシ需給は、需要が生産を上回る様相を示していたが、需給の矛盾はやや改善に向かい、トウモロコシの期末在庫は2.7%増の1.09億トンと見込まれているが、在庫／消費比は14.2%と、いまだ安全水準（17～18%：国連食糧農業機関（FAO）制定）とされるレベルを下回っている。2008年の米国のトウモロコシは種面積は6.6%減とみられ、世界のトウモロコシ需給は再びひっ迫に向かうと予測されている。

3 国内価格引き続き上昇、年末にはやや下落見込み

2007年以降、国内需給の増加および農産物価格の大幅高騰などの影響を受け、中国国内のトウモロコシ価格は基本的に上昇または安定しつつ上昇する傾向を示し、新穀のトウモロコシが市場に出回るようになった後も、季節はずれとも言える価格上昇を見せている。12月上旬の国内の生産地および消費地におけるトウモロコシ平均卸売価格は、それぞれ1トン当たり1,629元及び1,982元で、いずれも史上最高を記録した。年間平均卸売価格は、それぞれ前年比18.5%高の1,500元および18.9%高の1,743元とみられている。2007年12月中旬には、一部の食糧商品の輸出が急増している状況に対し、トウモロコシの輸出税還付の取り消し措置や備蓄トウモロコシの放出、東北地区における食糧の鉄道輸送の強化による消費地への搬送増など、政府は相次いで農産物の市場コントロールを実施した。これにより、国内のトウモロコシ価格は同年12月中旬以降下落し、12月下旬の生産地および消費地におけるトウモロコシの平均卸売価格は、1トン当たり1,619元及び1,914元で、上旬に比べ10元および68元下落した。

トウモロコシの買入価格は前年同期に比べると明らかに高かったため、農民の売り惜しみ心理は弱まった。主産省である吉林省、黒龍江省、山東省、華北省、河南省の12月の中等トウモロコシの平均販売価格は、前年同月比19.5%高の50kg当たり72.7元となった。うち山東省、河北省、河南省及び吉林省は、それぞれ23.8%高、26.5%高、19.6%高および17.6%高となった。

4 国際価格は高水準で推移、内外価格差は拡大

米国におけるトウモロコシ燃料エタノールの消費増などにより、世界のトウモロコシ消費量が急増していることから、トウモロコシの国際価格は引き続き上昇し、2007年2月には最近10年間で最高の水準に達した。その後、米国のトウモロコシは種面積の増加や世界のトウモロコシ生産量の大幅増という予測などから、トウモロコシの国際価格は高水準ながら下落し、気候要因などの影響で小幅な上下を繰り返し推移した。しかし9月以降、小麦および大豆の国際価格の高騰や2008年の米国のトウモロコシは種面積の減少予測などから、トウモロコシの国際価格は再び上昇する傾向にある。2007年12月の米国メキシコ湾の2号黄色トウモロコシの平均港湾価格（本船渡し価格＝FOB価格）およびシカゴの先物価格は、それぞれ1トン当たり179ドルおよび167ドルで、前月比4.7%高及び11.3%高、

前年同月比6.2%高および8.2%高となった。

また、国際トウモロコシ価格の高騰に加え、国際海上輸送費も上昇し続けていることから、輸入トウモロコシのFOB価格が上昇し、トウモロコシの内外価格差は引き続き拡大した。広州の黄埔港では、12月の米国産トウモロコシの通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）が、同時期の国産トウモロコシの国内港価格よりも、1トン当たり700元以上高かった。